

解 説



第24回品質工学研究発表大会振り返り

Review on the Papers in the 24th Quality Engineering Society Annual Meeting

明吉 秀樹^{*1}

Hideki Akiyoshi

鴨下 隆志^{*2}

Takashii Kamoshita

田村 希志臣^{*3}

Kisbio Tamura

中島 建夫^{*4}

Takeo Nakajima

浜田 和孝^{*5}

Kazutaka Hamada

矢野 耕也^{*6}

Koya Yano

矢野 宏^{*2}

Hiroshi Yano

(司会) 吉澤 正孝^{*7}

Masataka Yoshizawa

1. 研究発表大会を振り返るにあたって

(司会)吉澤 大会の感想、反省や参考にすべきところを議論していきたい。学会はここ数年マクロ視点でと意思を出した活動を実施しようとしているが、われわれは着実に進んでいるのか確認したい。またパネルも発表方式の工夫がなされた大会となった。大ホールは、学会としてのマクロ視点での品質工学を意識した構成になっている。また、受賞した発表の中身についても気付きがあったものは、審査部会として会員へフィードバックしたい。

明吉 今年受賞した研究は以下の通りである。

金賞：

マクロ視点による光学ガラスの^{とろかい}溶解技術開発の効率化と垂直立ち上げ [発表番号6]

佐藤幸太^{*}、阿部浩之^{*} (*光ガラス(株)、正会員)

銀賞：

平面高精度加工技術の確立 [発表番号69]

中原寛海^{*1}、大塚宏明^{*1}、岡山一洋^{*1}、西本光毅^{*2}
(*1マツダ(株)、正会員、*2マツダ(株))

流体シミュレーションを用いた粉体化粧料の分散性向上に関する検討 [発表番号4]

坂本雅基^{*} (*花王(株)、正会員)

エンジン部品に関する知見抽出のためのバーチャル設計の応用 [発表番号5]

橘鷹伴幸^{*} (*トヨタ自動車(株)、正会員)

品質工学会会長賞：

樹脂製カキ採苗器の開発 [発表番号25]

高辻英之^{*1}、片岡義人^{*2}、佐々木憲吾^{*3} (*1広島県立総合技術研究所、正会員、*2大下産業(株)、*3広島県立総合技術研究所)

品質工学研究発表大会実行委員長賞：

金型温調システムの最適化によるプラスチック成形の生産性向上 [発表番号3]

山川泰明^{*1}、有働雄也^{*2}、曾我光英^{*1} (*1富士ゼロックス(株)、正会員、*2富士ゼロックス(株))

吉澤 今回、マクロ視点での活動として4年目での一つのくぎりと考える、進歩もあったが、今後さらに実践していかなければならないというところがある。本年の大会発表でも、マクロ視点を意識したものが多く出ている。来年の大会にどうつなげていか受賞論文を中心に一つひとつ議論してから全体としてどうだったか見ていくことにする。

*1 元(株)リコー

*2 応用計測研究所(株)

*3 コニカミノルタ(株)

*4 東京電機大学

*5 Hamada Quality Solution

*6 日本大学

*7 クオリティ・ディーブ・スマーツ(有組)